
エコアクション21

環境経営レポート・2020



対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日

作成日：2021年 5月30日

東海地区スバルグループ

名古屋スバル自動車株式会社

岐阜スバル自動車株式会社

三重スバル自動車株式会社

～ 目 次 ～

【1】	組織概要	1
【2】	推進組織図	3
【3】	店舗一覧	4
【4】	環境経営方針	6
【5】	過去5年間の実績推移	7
【6】	環境経営目標	9
	1. 2020年度環境経営目標	9
	2. 中期環境経営目標	11
【7】	2020年度環境負荷状況	13
	1. 前年度実績比較	13
	2. 2020年度目標実績比較	15
【8】	環境活動の取組み	17
	1. 計画とその行動評価、次年度の取組み	17
	2. 取組み事例	19
【9】	環境関連法規への違反・訴訟の有無	21
	1. 主な環境関連法規	21
	2. 違反、訴訟の有無	21
【10】	代表者の評価・見直し	21
	1. 全体評価	21
	2. 見直し	21

【1】組織概要



1. 統括会社

(1) 会社名：名古屋スバル自動車株式会社

(2) 所在地：愛知県名古屋市北区落合233番地

(3) 代表者氏名：代表取締役社長 小笠原 巧

(4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

EA21 推進責任者	代表取締役			小笠原 巧
EA21 副推進責任者	統括管理本部	本部長		森島 広良
環境管理責任者	統括管理本部	統括 CSR 推進部	部長	西尾 護
環境管理副責任者	統括管理本部	統括総務部	部長代理	磯貝 千孝
EA21 事務局長	統括管理本部	統括 CSR 推進部	CSR 推進課主査	山崎 学
EA21 事務局	統括管理本部	統括 CSR 推進部	CSR 推進課主査	廣瀬 豊
EA21 事務局	統括管理本部	統括 CSR 推進部	CSR 推進課主査	古田 隆士
EA21 実行責任者※	名古屋スバル	サービス部	部長	西尾 輝英
連絡先	TEL：052-901-8541/FAX：052-901-8889			

※印は名古屋スバル自動車の EA21 実行責任者を示す。

※印以外は EA21 統括環境管理責任者及び事務局を示す。

(5) 事業の内容

スバル車の販売並びに付随する関連業務

- ①自動車の販売
- ②中古自動車販売
- ③前各号に関する部品・用品等の関連商品の販売
- ④車検・定期点検・一般修理・板金塗装
- ⑤自動車損害賠償保障法に基づく保険代理店業

(6) 事業の規模(名古屋スバル自動車株式会社を示す)

年間売上	25,726百万円	2020年度
新車販売台数	5,198台	2020年度
中古車販売台数	3,817台	2020年度
従業員数(派遣 パート含む)	550名	2021年3月末現在
店舗数	本社、新車21店舗、中古車4店舗、部品センター1店舗	

(7) エコアクション21 認証・登録範囲：本社を含む全組織、全活動が対象である。

2-1. 事業会社

(1) 会社名：岐阜スバル自動車株式会社

(2) 所在地：岐阜県岐阜市細畑一丁目7番15号

(3) 代表者氏名：代表取締役社長 沼 耕一

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

EA21 推進責任者	代表取締役社長	沼 耕一
EA21 副推進責任者	営業支援部 部長	清水 辰巳
EA21 実行責任者	サービス部品部 部長代理	久我 央
連絡先	TEL：058-245-8416/FAX：058-245-5259	

(5) 事業の内容：統括会社(5)の①～⑤に同じ。

(6) 事業の規模

年間売上	7,135百万円	2020年度
新車販売台数	1,554台	2020年度
中古車販売台数	1,062台	2020年度
従業員数(派遣 パート含む)	156名	2021年3月末現在
店舗数	新車8店舗(本社含む) 中古車2店舗	

(7) エコアクション21 認証・登録範囲：本社を含む全組織、全活動が対象である。

2-2. 事業会社

(1) 会社名：三重スバル自動車株式会社

(2) 所在地：三重県津市高茶屋小森町398

(3) 代表者氏名：代表取締役社長 谷内田 雅人

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

EA21 推進責任者	代表取締役社長	谷内田 雅人
EA21 副推進責任者	営業支援部 部長	浦川 宗広
EA21 実行責任者	サービス部品部 部長代理	西田 了
連絡先	TEL：059-271-6030/FAX：059-271-6033	

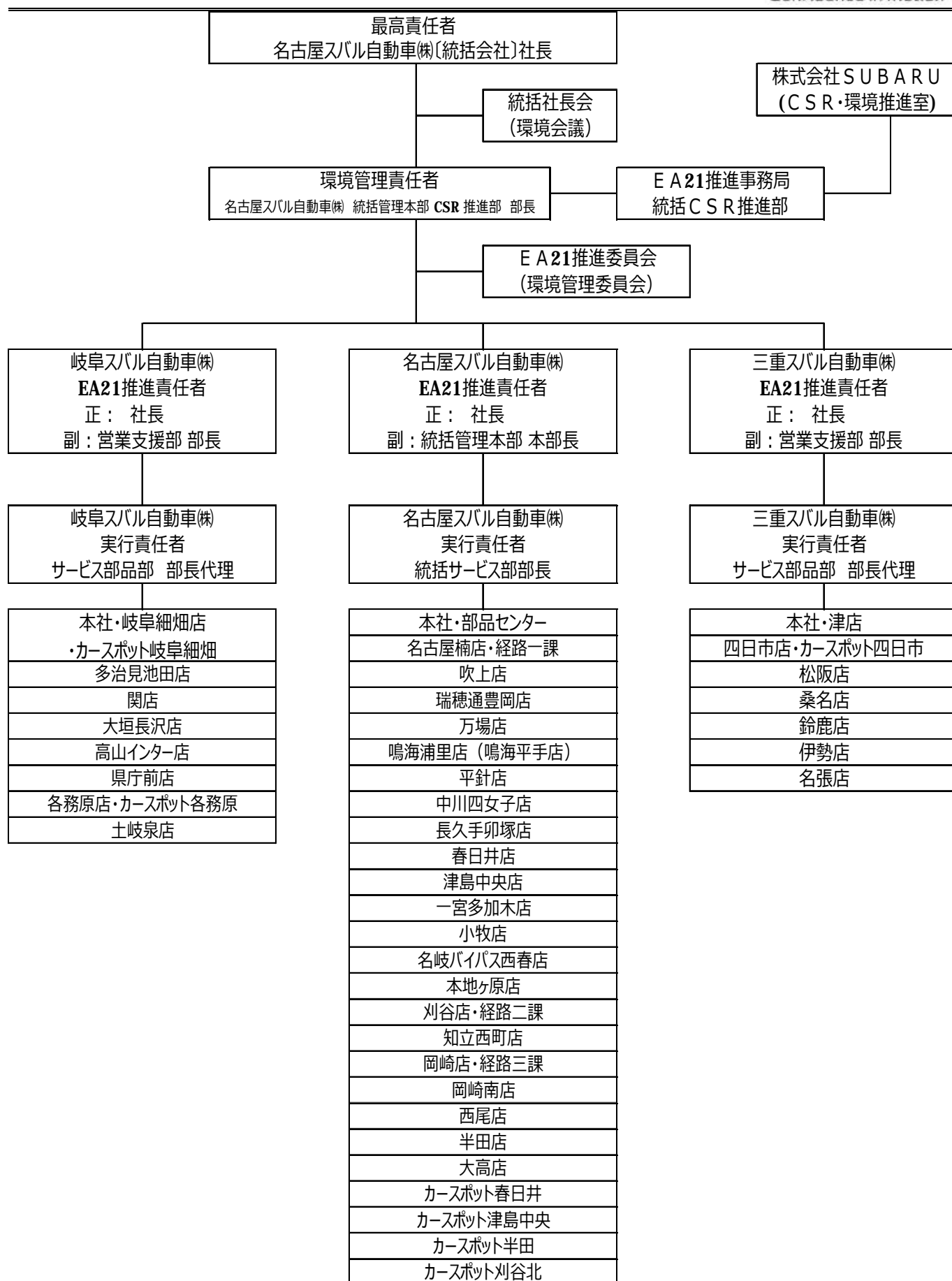
(5) 事業の内容：統括会社(5)の①～⑤に同じ。

(6) 事業の規模

年間売上	6,242百万円	2020年度
新車販売台数	1,321台	2020年度
中古車販売台数	966台	2020年度
従業員数(派遣 パート含む)	156名	2021年3月末現在
店舗数	新車7店舗(本社含む) 中古車店舗1店舗	

(7) エコアクション21 認証・登録範囲：本社を含む全組織、全活動が対象である。

【2】推進組織図



【3】店舗一覽



	名古屋パル事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	工場	組織区分
						資格	
1	本社部門	462-0017	愛知県名古屋市北区落合町233番地	052-901-8611	052-901-8263	—	A
	統括管理本部						
	統括総務部						
	統括経理部						
	統括CSR推進部						
	統括推進本部						
	統括総合営業推進部						
	統括営業支援部						
統括中古車部							
統括サービス部品部	052-901-8541	052-901-8889					
営業本部							
営業第一部							
2	名古屋楠店	462-0017	愛知県名古屋市北区落合町175	052-901-8645	052-901-8721	指定工場	C
3	吹上店	464-0858	愛知県名古屋市千種区千種3-36-15	052-732-3271	052-732-3280	指定工場	C
4	瑞穂通豊岡店	467-0012	愛知県名古屋市瑞穂区豊岡通3丁目10-1	052-853-5071	052-842-3340	指定工場	C
5	万場店	454-0997	愛知県名古屋市中川区万場2-209	052-431-6111	052-431-6122	指定工場	C
6	鳴海平手店	458-0009	愛知県名古屋市緑区平手南1-104	052-877-2341	052-877-9232	指定工場	C
	鳴海浦里店	485-0848	愛知県名古屋市緑区浦里5-128	052-602-7331	052-621-0901	指定工場	C
7	平針店	468-0011	愛知県名古屋市天白区平針3-1015	052-802-5651	052-804-3940	指定工場	C
8	中川四女子店	454-0822	愛知県名古屋市中川区四女子町2丁目16番地	052-365-3051	052-362-9351	指定工場	C
営業第二部							
9	春日井店	486-0856	愛知県春日井市梅ヶ坪町106	0568-81-8690	0568-81-8550	指定工場	C
10	津島中央店	496-0047	愛知県津島市西柳原町1丁目90-1	0567-28-3724	0567-25-6670	指定工場	C
11	一宮多加木店	491-0837	愛知県一宮市多加木2丁目7番36号	0586-24-1213	0586-24-1217	指定工場	C
12	小牧店	485-0016	愛知県小牧市大字間々原新田字上新池852	0568-73-6811	0568-77-6813	指定工場	C
13	名岐バイパス西春店	481-0035	愛知県北名古屋市宇福寺天神190	0568-25-8101	0568-25-8105	指定工場	C
14	本地ヶ原店	488-0044	愛知県尾張旭市本地ヶ原町2-125	0561-55-7411	0561-55-0551	指定工場	C
15	長久手卯塚店	480-1145	愛知県長久手市卯塚一丁目703番地	0561-76-8880	0561-64-2447	指定工場	C
営業第三部							
16	刈谷店	448-0031	愛知県刈谷市東新町4-105	0566-25-0611	0566-25-0631	指定工場	C
17	知立西町店	472-0023	愛知県知立市西町本田11番地1	0566-91-8111	0566-84-5701	指定工場	C
18	岡崎店	444-2123	愛知県岡崎市鴨田南町9-5	0564-24-9501	0564-22-6615	指定工場	C
19	岡崎南店	444-0206	愛知県岡崎市法性寺町字猿待28-1	0564-54-6223	0564-54-7825	指定工場	C
20	西尾店	445-0802	愛知県西尾市米津町宮東1-6	0563-56-7278	0563-56-7256	指定工場	C
21	半田店	475-0804	愛知県半田市上浜町1-2	0569-21-6339	0569-21-5453	指定工場	C
22	大高店	459-8001	愛知県名古屋市緑区大高町字真新田116	052-624-2245	052-624-5411	指定工場	C
経路営業部							
23	経路一課	454-0027	愛知県名古屋市北区落合町175	052-901-3800	052-901-8711	—	B
24	経路二課	448-0031	愛知県刈谷市東新町4-105	0566-25-0611	0566-25-0631	—	B
25	経路三課	444-2123	愛知県岡崎市鴨田南町9-5	0564-24-9501	0564-22-6615	—	B
中古車部							
26	カースポット春日井	486-0839	愛知県春日井市六軒屋町西2-2-7	0568-89-2277	0568-89-2221	—	B
27	カースポット津島中央	496-0047	愛知県津島市西柳原町1丁目90-1	0567-28-8855	0567-25-5700	—	C
28	カースポット半田	475-0804	愛知県半田市上浜町1-2	0569-32-4010	0569-32-4012	—	C
29	カースポット刈谷北	448-0001	愛知県刈谷市井ヶ谷町下前田14-15	0566-62-7735	0566-62-7738	—	B
サービス部品部							
30	部品センター	462-0017	愛知県名古屋市北区落合町233	052-901-7111	052-902-5456	—	A

岐阜バル事業所名		郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	工場 資格	組織区分
1	本社部門	500-8238	岐阜県岐阜市細畑一丁目7番15号	058-245-4126	058-245-5259	—	A
	営業支援部			058-245-4126			
	営業部			058-245-4127			
	中古車部			058-245-8416			
	サービス部品部			058-245-4120			
	岐阜細畑店		058-245-8560	058-245-8480	—	B	
カースポット岐阜細畑		岐阜県岐阜市細畑一丁目7番3号					
2	多治見池田店	507-0048	岐阜県多治見市池田町9丁目1-3	0572-22-7137	0572-22-7143	指定工場	C
3	関店	501-3253	岐阜県関市栄町4丁目1番70号	0575-22-0193	0575-22-2291	指定工場	C
4	大垣長沢店	503-0833	岐阜県大垣市長沢町二丁目9-1	0584-75-5161	0584-75-5163	指定工場	C
5	高山インター店	506-0001	岐阜県高山市冬頭町730番地1	0577-32-9600	0577-34-3230	指定工場	C
6	県庁前店	500-8381	岐阜県岐阜市市橋3丁目6-3	058-274-7117	058-274-7473	指定工場	C
7	各務原店	509-0146	岐阜県各務原市鷺沼三ツ池町3丁目33番地	058-379-5131	058-379-2760	指定工場	C
	カースポット各務原					—	B
8	土岐泉店	509-5101	岐阜県土岐市泉町河合911-4	0572-55-0301	0572-55-0304	指定工場	C

三重バル事業所名		郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	工場 資格	組織区分		
1	本社部門	514-0817	三重県津市高茶屋小森町398	059-271-6100	059-271-6033	—	A		
	営業部			059-271-6031					
	営業支援部			059-271-6032					
	営業支援課			059-271-6030					
	登録課			059-271-6000				059-271-6005	指定工場
	サービス部品部								
	サービス課								
お客様相談室									
津店									
2	中古車部	510-0064	三重県四日市市新正5-4-9	059-353-2166	059-357-3172	—	A		
	中古車課			059-353-2164	059-353-2162	—	A		
	営業部			059-353-2161	059-357-3386	指定工場	C		
	特販課			059-353-2166	059-357-3172	—	B		
四日市店									
カースポット四日市		三重県四日市市新正5-4-5							
3	松阪店	515-2122	三重県松阪市久米町1259-1	0598-56-2711	0598-56-2715	指定工場	C		
4	桑名店	511-0834	三重県桑名市大福470-1	0594-22-1583	0594-22-1644	指定工場	C		
5	鈴鹿店	513-0813	三重県鈴鹿市北玉垣町1680-1	059-382-3270	059-383-6520	指定工場	C		
6	伊勢店	516-0051	三重県伊勢市上地町2582-2	0596-22-4815	0596-28-8259	指定工場	C		
7	名張店	518-0613	三重県名張市小波田1983-1	0595-67-0111	0595-65-9000	指定工場	C		

組織区分の意味

A＝オフィス業務（事務所業務）

B＝オフィス業務＋自動車販売（新車、中古車）

C＝オフィス業務＋自動車販売（新車、中古車）＋整備業務

※2020年4月から2020年12月までは鳴海平手店として活動し2021年1月からは鳴海浦里店として活動

環 境 経 営 方 針

《基本理念》

東海地区スバルグループ(以下「当グループ」という)は、地球環境の保全が人類共通の重要課題であることを認識し、資源の有効活用と顧客満足度の向上を図り、スバル車の販売・整備等の事業活動から生ずる、地域および次世代の環境への影響を第一に考え、環境と調和のとれた持続的発展へ取り組みます。

また、住みよい地域環境と、地球環境の保全を積極的に図り、事業経営の全領域で環境保全に配慮しつつ社会の発展に貢献してまいります。

《基本方針》

この理念のもと、当グループが行なうスバル車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー、廃棄物の排出、リサイクル、公害防止に配慮した活動、環境保全に努めます。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、定期的に環境監査を実施し環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進し、環境管理の維持向上を図ります。
3. 環境に関する法規制、条例、及び当グループが同意する指針、その他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境経営目標を設定し取り組み、必要があれば見直しを行います。
 - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ②省資源（水使用量、紙使用量）
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④化学物質管理の強化
 - ⑤今後の店舗展開及び機材投入の際には環境経営方針に合ったものを取り入れる
 - ⑥店舗周辺の清掃を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する
 - ⑦本業の事業活動の中でエコカー・エコ商品の販売を推進し、環境配慮に取り組む
5. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進し地域社会に貢献します。



東海地区スバルグループ

認証番号：0003592

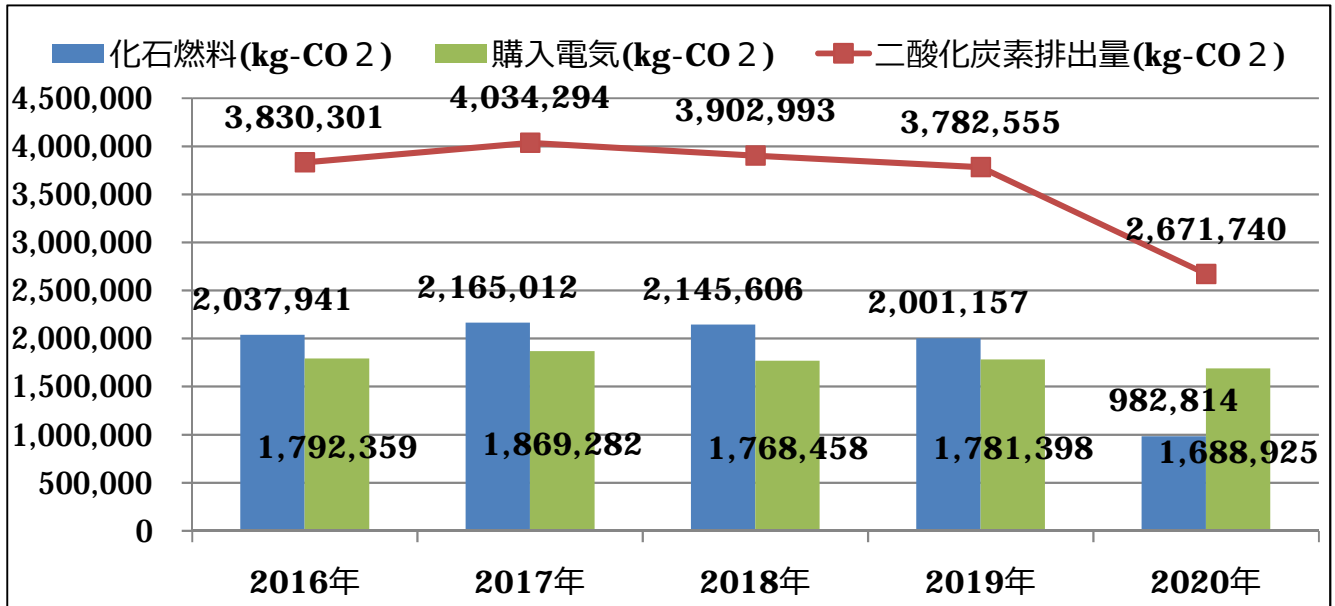
環境経営方針制定日：2019年4月1日
名古屋スバル自動車株式会社
(東海地区スバルグループ統括)

代表取締役社長 小笠原 巧

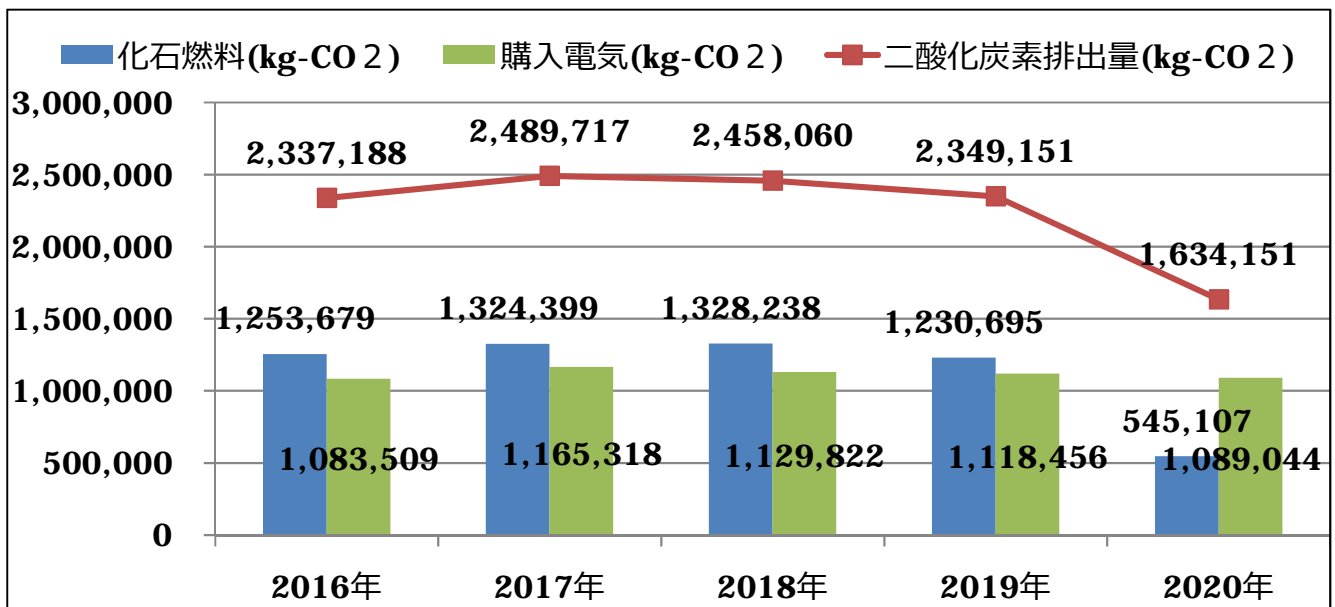
【5】過去5年間の実績推移

1. 二酸化炭素排出量推移

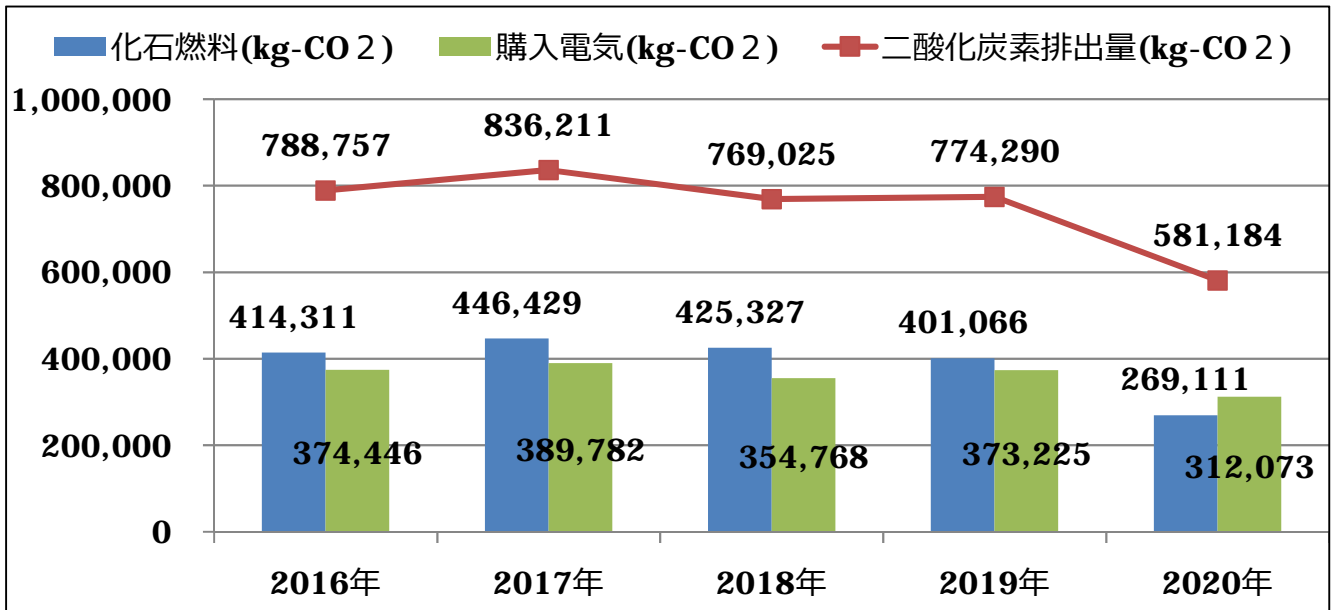
(1) 東海地区スバルグループ



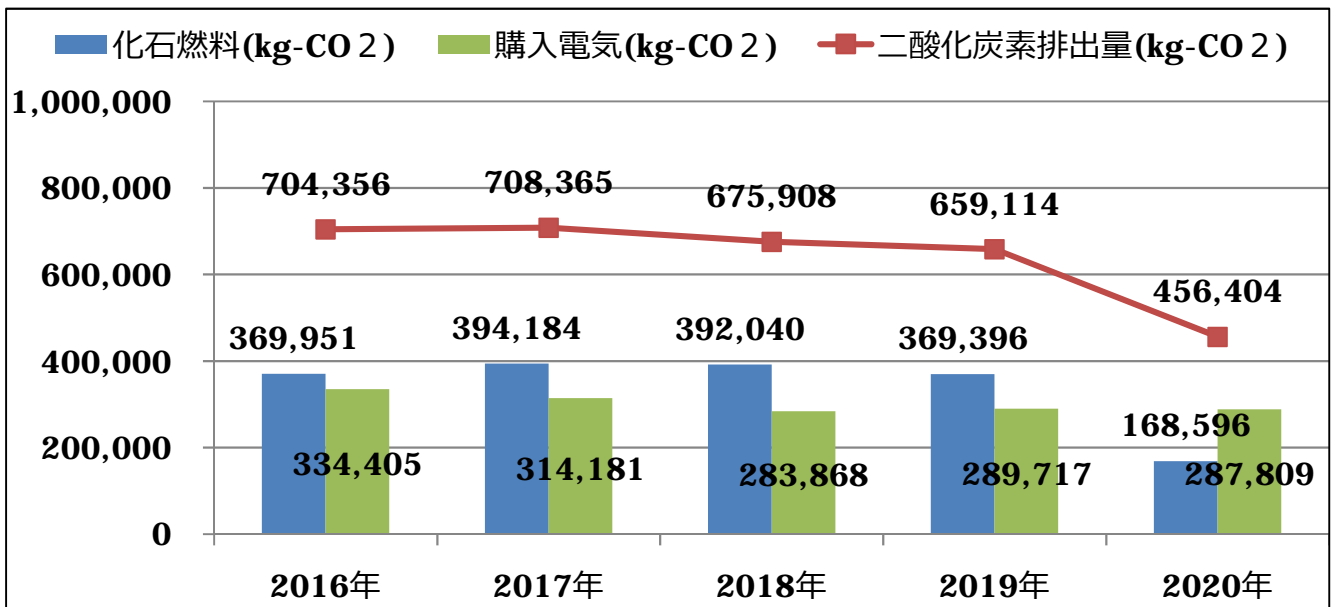
(2) 名古屋スバル自動車



(3) 岐阜スバル自動車



(4) 三重スバル自動車



※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力調整後排出係数0.472kg-CO₂/kWhを使用。

【6】環境経営目標

当グループの事業活動が環境に与える負荷を把握し、影響が大きいと考えられるエネルギーの使用量・産業廃棄物の排出量及び水使用量の削減活動に重点を置き、環境負荷の低減及び環境汚染の防止に努め、同時にリサイクルの推進も積極的に行います。

1. 2020年度環境経営目標

2019年度実績より1%削減を目標とし、各事業所へはこの基準を2020年度目標に反映し活動を展開しました。

(1) 東海地区スバルグループ目標

項目	単位	2019年度実績	2020年度目標	
CO₂排出量	kg-CO₂	3,782,555	3,744,730	
購入電力	kg-CO₂	1,781,398	1,763,584	
化石燃料	kg-CO₂	2,001,157	1,981,145	
電気使用量	kWh	3,774,148	3,736,407	
燃 料	ガソリン	L	785,325	777,472
	灯油	L	1,405	1,391
	軽油	L	45,695	45,238
	LPG	kg	10,507	10,402
	都市ガス	Nm ³	11,348	11,235
水使用量	m³	27,864	27,585	
有価物	t	646	640	
一般廃棄物	t	136	135	
産業廃棄物	t	951	941	
ノルマルヘキサン使用量	kg	212	210	

(2) 名古屋スバル自動車目標

項目	単位	2019年度実績	2020年度目標	
CO₂排出量	kg-CO₂	2,349,151	2,325,660	
購入電力	kg-CO₂	1,118,456	1,107,271	
化石燃料	kg-CO₂	1,230,695	1,218,388	
電気使用量	kWh	2,369,610	2,345,914	
燃 料	ガソリン	L	513,172	508,040
	灯油	L	213	211
	軽油	L	14,686	14,539
	LPG	kg	25	25
	都市ガス	Nm ³	66	65
水使用量	m³	18,242	18,060	
有価物	t	420	416	
一般廃棄物	t	96	95	
産業廃棄物	t	539	534	
ノルマルヘキサン使用量	kg	113	112	

(3) 岐阜スバル自動車目標

項目	単位	2019年度実績	2020年度目標	
CO₂排出量	kg-CO₂	774,290	766,548	
購入電力	kg-CO₂	373,225	369,493	
化石燃料	kg-CO₂	401,066	397,055	
電気使用量	kWh	790,730	782,823	
燃 料	ガソリン	L	126,199	124,937
	灯油	L	1,192	1,180
	軽油	L	19,372	19,179
	LPG	kg	10,482	10,378
	都市ガス	Nm ³	11,282	11,169
水使用量	m ³	4,229	4,186	
有価物	t	119	118	
一般廃棄物	t	19	19	
産業廃棄物	t	243	241	
ノルマルヘキサン使用量	kg	77	77	

(4) 三重スバル自動車目標

項目	単位	2019年度実績	2020年度目標	
CO₂排出量	kg-CO₂	659,114	652,522	
購入電力	kg-CO₂	289,717	286,820	
化石燃料	kg-CO₂	369,396	365,702	
電気使用量	kWh	613,808	607,670	
燃 料	ガソリン	L	145,955	144,495
	灯油	L	—	—
	軽油	L	11,637	11,520
	LPG	kg	—	—
	都市ガス	Nm ³	—	—
水使用量	m ³	5,393	5,339	
有価物	t	107	106	
一般廃棄物	t	21	21	
産業廃棄物	t	169	167	
ノルマルヘキサン使用量	kg	21	21	

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力調整後排出係数0.472kg-CO₂/kWhを使用。
 ※点検P12ヶ月点検入庫率、車検付点検P新車時付保率、車検時点検P付保率の目標は株式会社SUBARUの目標を使用

2. 中期環境経営目標

2020年度の実績を基準に、1年間に1%の削減を目標に、3年間の目標を策定しました。この目標は、全社的な投資計画などに反映させます。

(1) 東海地区スバルグループ目標

項目	単位	2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,671,740	2,645,022	2,618,572	2,592,386	
購入電力	kg-CO ₂	1,688,925	1,672,036	1,655,316	1,638,763	
化石燃料	kg-CO ₂	982,814	972,986	963,256	953,624	
電気使用量	kWh	3,578,231	3,542,448	3,507,024	3,471,953	
燃 料	ガソリン	L	355,260	351,708	348,191	344,709
	灯油	L	1,492	1,478	1,463	1,448
	軽油	L	37,907	37,528	37,152	36,781
	LPG	kg	11,620	11,504	11,389	11,275
	都市ガス	Nm ³	8,986	8,896	8,807	8,719
水使用量	m ³	22,586	22,360	22,136	21,915	
有価物	t	600	606	612	618	
一般廃棄物	t	140	139	137	136	
産業廃棄物	t	1,001	991	981	971	
ノルマルヘキサン使用量	kg	0	0	0	0	

(2) 名古屋スバル自動車目標

項目	単位	2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	1,634,151	1,617,810	1,601,632	1,585,615	
購入電力	kg-CO ₂	1,089,044	1,078,154	1,067,372	1,056,698	
化石燃料	kg-CO ₂	545,107	539,656	534,260	528,917	
電気使用量	kWh	2,307,296	2,284,223	2,261,380	2,238,767	
燃 料	ガソリン	L	215,923	213,763	211,626	209,509
	灯油	L	281	278	275	272
	軽油	L	16,016	15,856	15,697	15,540
	LPG	kg	14	14	14	13
	都市ガス	Nm ³	22	22	22	21
水使用量	m ³	14,383	14,239	14,097	13,956	
有価物	t	398	402	406	410	
一般廃棄物	t	100	99	98	97	
産業廃棄物	t	584	578	572	567	
ノルマルヘキサン使用量	kg	0	0	0	0	

(3) 岐阜スバル自動車目標

項目	単位	2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	581,184	575,372	569,618	563,922	
購入電力	kg-CO ₂	312,073	308,952	305,862	302,804	
化石燃料	kg-CO ₂	269,111	266,420	263,756	261,118	
電気使用量	kWh	661,171	654,559	648,014	641,534	
燃 料	ガソリン	L	75,044	74,294	73,551	72,816
	灯油	L	1,212	1,200	1,188	1,176
	軽油	L	14,526	14,381	14,237	14,095
	LPG	kg	11,606	11,490	11,376	11,262
	都市ガス	Nm ³	8,964	8,874	8,786	8,698
水使用量	m ³	3,214	3,182	3,150	3,119	
有価物	t	105	106	107	108	
一般廃棄物	t	20	20	20	19	
産業廃棄物	t	213	211	209	207	
ノルマルヘキサン使用量	kg	0	0	0	0	

(4) 三重スバル自動車目標

項目	単位	2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	456,404	451,840	447,322	442,849	
購入電力	kg-CO ₂	287,809	284,931	282,081	279,260	
化石燃料	kg-CO ₂	168,596	166,910	165,241	163,588	
電気使用量	kWh	609,764	603,666	597,630	591,653	
燃 料	ガソリン	L	64,293	63,650	63,014	62,384
	灯油	L	—	—	—	—
	軽油	L	7,365	7,291	7,218	7,146
	LPG	kg	—	—	—	—
	都市ガス	Nm ³	—	—	—	—
水使用量	m ³	4,989	4,939	4,889	4,841	
有価物	t	97	98	99	100	
一般廃棄物	t	20	20	20	19	
産業廃棄物	t	204	202	200	198	
ノルマルヘキサン使用量	kg	0	0	0	0	

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力調整後排出係数0.472kg-CO₂/kWhを使用。
 ※点検 P12 ヶ月点検入庫率、車検付点検 P 新車時付保率、車検時点検 P 付保率の目標は株式会社
 SUBARU の目標を使用

【7】 2020年度環境負荷状況

1. 前年度実績比較

(1) 東海地区スバルグループ

項目	単位	2019年度実績	2020年度実績	削減率	評価 判定	
				達成率		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	3,782,555	2,671,740	29.4%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	1,781,398	1,688,925	5.2%	○	
化石燃料	kg-CO ₂	2,001,157	982,814	50.9%	◎	
電気使用量	kWh	3,774,148	3,578,231	5.2%	○	
燃 料	ガソリン	L	785,325	355,687	54.7%	◎
	灯油	L	1,405	1,492	-6.2%	×
	軽油	L	45,695	37,907	17.0%	◎
	LPG	kg	10,507	11,620	-10.6%	×
	都市ガス	Nm ³	11,348	8,986	20.8%	◎
水使用量	m ³	27,864	22,586	18.9%	◎	
有価物	t	646	600	7.1%	○	
一般廃棄物	t	136	140	-2.9%	×	
産業廃棄物	t	951	1,001	-5.3%	×	
ノルマルヘキサン使用量	kg	212	0	100.0%	◎	

(2) 名古屋スバル自動車

項目	単位	2019年度実績	2020年度実績	削減率	評価 判定	
				達成率		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,349,151	1,634,151	30.4%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	1,118,456	1,089,044	2.6%	○	
化石燃料	kg-CO ₂	1,230,695	545,107	55.7%	◎	
電気使用量	kWh	2,369,610	2,307,296	2.6%	○	
燃 料	ガソリン	L	513,172	216,349	57.8%	◎
	灯油	L	213	281	-31.7%	×
	軽油	L	14,686	16,016	-9.1%	×
	LPG	kg	25	14	44.2%	◎
	都市ガス	Nm ³	66	22	66.7%	◎
水使用量	m ³	18,242	14,383	21.2%	◎	
有価物	t	420	398	5.2%	○	
一般廃棄物	t	96	100	-4.2%	×	
産業廃棄物	t	539	584	-8.3%	×	
ノルマルヘキサン使用量	kg	113	0	100.0%	◎	

(3) 岐阜スバル自動車

項目	単位	2019年度実績	2020年度実績	削減率	評価 判定	
				達成率		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	774,290	581,184	24.9%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	373,225	312,073	16.4%	◎	
化石燃料	kg-CO ₂	401,066	269,111	32.9%	◎	
電気使用量	kWh	790,730	661,171	16.4%	◎	
燃 料	ガソリン	L	126,199	75,044	40.5%	◎
	灯油	L	1,192	1,212	-1.7%	×
	軽油	L	19,372	14,526	25.0%	◎
	LPG	kg	10,482	11,606	-10.7%	×
	都市ガス	Nm ³	11,282	8,964	20.5%	◎
水使用量	m ³	4,229	3,214	24.0%	◎	
有価物	t	119	105	11.8%	◎	
一般廃棄物	t	19	20	-5.3%	×	
産業廃棄物	t	243	213	12.3%	◎	
ノルマルヘキサン使用量	kg	77	0	100.0%	◎	

(4) 三重スバル自動車

項目	単位	2019年度実績	2020年度実績	削減率	評価 判定	
				達成率		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	659,114	456,404	30.8%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	289,717	287,809	0.7%	○	
化石燃料	kg-CO ₂	369,396	168,596	54.4%	◎	
電気使用量	kWh	613,808	609,764	0.7%	○	
燃 料	ガソリン	L	145,955	64,293	55.9%	◎
	灯油	L	—	—	—	—
	軽油	L	11,637	7,365	36.7%	◎
	LPG	kg	—	—	—	—
	都市ガス	Nm ³	—	—	—	—
水使用量	m ³	5,393	4,989	7.5%	○	
有価物	t	107	97	9.3%	○	
一般廃棄物	t	21	20	4.8%	○	
産業廃棄物	t	169	204	-20.7%	×	
ノルマルヘキサン使用量	kg	21	0	100.0%	◎	

判定基準（削減率）・・・×：0%未満 ○：0～10%未満 ◎：10%以上

判定基準（達成率）・・・×：100%未満 ○：100%～110%未満 ◎：110%以上

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力調整後排出係数0.472kg-CO₂/kWhを使用。

2. 2020年度目標実績比較

(1) 東海地区スバルグループ

項目	単位	2020年度目標	2020年度実績	削減率	評価 判定	
				達成率		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	3,744,730	2,671,740	28.7%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	1,763,584	1,688,925	4.2%	○	
化石燃料	kg-CO ₂	1,981,145	982,814	50.4%	◎	
電気使用量	kWh	3,736,407	3,578,231	4.2%	○	
燃 料	ガソリン	L	777,472	355,687	54.3%	◎
	灯油	L	1,391	1,492	-7.3%	×
	軽油	L	45,238	37,907	16.2%	◎
	LPG	kg	10,402	11,620	-11.7%	×
	都市ガス	Nm ³	11,235	8,986	20.0%	◎
水使用量	m ³	27,585	22,586	18.1%	◎	
有価物	t	640	600	6.2%	○	
一般廃棄物	t	135	140	-4.0%	×	
産業廃棄物	t	941	1,001	-6.3%	×	
ノルマルヘキサン使用量	kg	210	0	100.0%	◎	

(2) 名古屋スバル自動車

項目	単位	2020年度目標	2020年度実績	削減率	評価 判定	
				達成率		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	2,325,660	1,634,151	29.7%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	1,107,271	1,089,044	1.6%	○	
化石燃料	kg-CO ₂	1,218,388	545,107	55.3%	◎	
電気使用量	kWh	2,345,914	2,307,296	1.6%	○	
燃 料	ガソリン	L	508,040	216,349	57.4%	◎
	灯油	L	211	281	-33.0%	×
	軽油	L	14,539	16,016	-10.2%	×
	LPG	kg	25	14	43.6%	◎
	都市ガス	Nm ³	65	22	66.3%	◎
水使用量	m ³	18,060	14,383	20.4%	◎	
有価物	t	416	398	4.3%	○	
一般廃棄物	t	95	100	-5.2%	×	
産業廃棄物	t	534	584	-9.4%	×	
ノルマルヘキサン使用量	kg	112	0	100.0%	◎	

(3) 岐阜スバル自動車

項目	単位	2020年度目標	2020年度実績	削減率	評価	
				達成率	判定	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	766,548	581,184	24.2%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	369,493	312,073	15.5%	◎	
化石燃料	kg-CO ₂	397,055	269,111	32.2%	◎	
電気使用量	kWh	782,823	661,171	15.5%	◎	
燃 料	ガソリン	L	124,937	75,044	39.9%	◎
	灯油	L	1,180	1,212	7.0%	○
	軽油	L	19,179	14,526	24.3%	◎
	LPG	kg	10,378	11,606	-11.8%	×
	都市ガス	Nm ³	11,169	8,964	19.7%	◎
水使用量	m ³	4,186	3,214	23.2%	◎	
有価物	t	118	105	10.9%	◎	
一般廃棄物	t	19	20	-6.3%	×	
産業廃棄物	t	241	213	11.5%	◎	
ノルマルヘキサン使用量	kg	77	0	100.0%	◎	

(4) 三重スバル自動車

項目	単位	2020年度目標	2020年度実績	削減率	評価	
				達成率	判定	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	652,522	456,404	30.1%	◎	
購入電力	kg-CO ₂	286,820	287,809	-0.3%	×	
化石燃料	kg-CO ₂	365,702	168,596	53.9%	◎	
電気使用量	kWh	607,670	609,764	-0.3%	×	
燃 料	ガソリン	L	144,495	64,293	55.5%	◎
	灯油	L	—	—	—	—
	軽油	L	11,520	7,365	36.1%	◎
	LPG	kg	—	—	—	—
	都市ガス	Nm ³	—	—	—	—
水使用量	m ³	5,339	4,989	6.6%	○	
有価物	t	106	97	8.4%	○	
一般廃棄物	t	21	20	4.8%	○	
産業廃棄物	t	167	204	-21.9%	×	
ノルマルヘキサン使用量	kg	21	0	100.0%	◎	

判定基準（削減率）・・・×：0%未満 ○：0～10%未満 ◎：10%以上

判定基準（達成率）・・・×：100%未満 ○：100%～110%未満 ◎：110%以上

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力調整後排出係数0.472kg-CO₂/kWhを使用。

【8】環境経営活動の取組

1. 計画とその行動評価、次年度の取組み

	計画	取組み結果	評価	次年度の取組
本来業務による環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ①サービス部門の正確な作業推進 ②スマートボード活用による入庫管理、残業削減 ③点検パックの積極的な提案の実施 ④12ヶ月点検入庫率の向上 ⑤タイヤを始めとするエコ商品の販売促進（燃費向上） 	<ul style="list-style-type: none"> ①④業務プロセス改善の取組みにより、入庫管理と残業の削減を図った ②コロナ化による就業時間の短縮や入庫台数の減少により残業が減った ③全数提案を実施し付保率を上げることが出来た ⑤提案によるエコ商品の拡販を図った 	○	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む ④継続して取組む ⑤継続して取組む
電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①節電への取組強化を促す掲示を電源 SW 付近に貼り、不在時、不必要な照明の消灯を徹底する ②冷暖房の室温管理（暖房22℃、冷房26℃）夏場、冬場の商談スペースの配置の考慮 ③高圧デマンド監視装置導入による節電、クールビズの導入（5月～10月） ④サイン看板灯、広告塔点灯、消灯時間の管理 春（3～4月）18:00～19:30 夏（5～8月）19:00～19:30 秋（9～11月）18:00～19:30 冬（12～2月）16:30～19:30 	<ul style="list-style-type: none"> ①③④節電の意識は定着している。 ②お客様、従業員人の健康管理面を考え空調を（CS向上、熱中症防止）適切に温度管理を行った また、メカニックの作業環境改善のため工場の冷暖房化に取り組んだ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組むと共に工場の職場環境改善（冷暖房化）に取組む ③継続して取組む ④継続して取組む
燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①効率的な代車等の使用により、社用車を削減する。 ②社用車の入替え及びメンテナンス効率的な代車の使用 ③エコドライブの推進、マタニティドライブの推進活動。（マタニティドライブとは妊婦さんや新生児が同乗しているつもりで運転を行うエコドライブです） ④来店型店舗への取組みを推進し訪問型から来店型への移行による燃料使用量削減を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ①②効率的な代車等の使用、社用車メンテナンスを適切に実施した ③エコドライブの推進、マタニティドライブの推進活動を啓蒙した。（マタニティドライブとは妊婦さんや新生児が同乗しているつもりで運転を行うエコドライブです） ④来店型の取組を社員に理解させ取組の定着を図った 	○	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む ④継続して取組む
水道水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①水道の故障、水道管の破損時は速やかに管理担当者に連絡し修復を行なう ②車両洗車時の節水 ③蛇口付近に節水を呼びかける張り紙等を貼り節水に対する注意喚起をする 	<ul style="list-style-type: none"> ①③活動は定着している ②上期は整備入庫車両に対しQUOカードの配布や外部洗車施策を行い、下期より洗車有料サービスにも取組を行った結果車両洗車時の節水に繋がった 	○	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む

	計画	取り組み結果	評価	次年度の取組
産業廃棄物排出量削減	①マニフェストの管理を徹底する。 ②分別再資源化の推進（可燃ごみ、紙ごみ、ダンボール、プラごみ） ③一般廃棄物は適正に管理し一定量になったら許可業者に引渡す ④廃クーラントの管理を徹底する	①-④一般/産業廃棄物の適正処理を徹底した。 産業廃棄物の増加は市場措置で発生した交換部品などの廃棄物増加が要因と考えられる。	△	①電子マニフェスト導入を検討する。 ②継続して取組む ③継続して取組む ④継続して取組む
紙（コピー）用紙削減	①メールの活用（FAXの削減、ムダに印刷しない） ②コンプライアンスに違反しない裏紙使用の徹底 ③余分なコピーをしない（回覧等で済むものは回覧にし、コピー枚数を減らす）	①-③店舗間で格差はあるものの新車販売台数、整備在庫台数は減少したが、売りが為の見積書や提案書の作成により紙使用量は横ばいである	△	①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む
一般ごみ削減	①分別容器の設置と分別回収による資源のリサイクルの推進と一般ごみの削減	①紙製の分別容器を利用して分別回収に取り組んだ	○	①継続して取組む
化学物質管理	①PRTR 物質使用量の把握・化学物質の使用量の抑制 物質名：n-ヘキサン 使用品名：プレーキクリーナ	今年度対象外	-	
社会貢献	①地域社会への環境保全活動	①店舗周辺、近隣の清掃活動の実施。 ②地域、自治会、町内会との協力 ③交通違反、交通事故撲滅運動への参加。 ④インターンシップ受入れ ⑤子ども110番の家登録	○	①継続して取組む
自動車部品リサイクル	①自動車部品のリサイクルを遵守する	①バンパー、バッテリー、廃油は資源再利用の為、積極的に回収し、リサイクル部品の積極的な活用を行った。	○	①継続して取組む
その他	①グリーン購入法対象物の購入促進 ②環境関連法令を遵守する ③内部監査の実施	①事務用品、省エネ基準適合商品積極的に購入した。 ②③統括CSR監査時に店舗内を確認し、環境関連法令を遵守しているか確認を行った。	○	①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む

2. 取組事例

(1) 電気使用量削減

- ①電源付近に節電への取組強化を促す掲示
- ②冷暖房の室温管理（暖房 22℃冷房 26℃）
- ③クールビズの導入（5月～10月）
- ④電化製品購入について省エネ重視の製品導入。
- ⑤定休日の広告塔の消灯。
- ⑥デマンドコントローラーによる電気使用量の見える化

※デマンド監視サービスは、刻々と変化する電気使用量を常時監視し、管理目標として設定されたデマンド値を超過しないように警告やランプで知らせるサービスで、これにより今まで意識しなかった電気使用量が「見える化」され、電気料金が削減できるだけでなく CO₂削減により地球温暖化対策にも貢献します



(2) ガソリン使用量の削減

- ①社用車の適正配備
- ②アイドリングストップの推進
- ③エコ運転の推進（エコドライブ5ヶ条の励行。）
- ④マタニティドライブの啓蒙

※マタニティドライブとは妊婦さんや新生児が同乗しているつもりで運転を行なうエコドライブの取組み。

(3) 自社製品、サービスに付随する環境への配慮

- ①e-BOXER 販売の推進



※e-BOXER とは、水平対向エンジンと電動技術を組み合わせた新開発のパワーユニット効率を高めた水平対向エンジンに、コンパクトで高性能なモーターとバッテリーをシンメトリカル AWD レイアウトに統合

②エコタイヤ販売



※低燃費タイヤとは

JATMA（一般社団法人日本自動車タイヤ協会）が定めたグレーディングシステム（等級制度）で**低燃費**と**安全性**が一定以上のレベルを満たしたタイヤです。

※主なタイヤメーカー環境対応商品マーク

ブリヂストン



ブリヂストンは、2005年より、新たに発売する商品・サービスで、ブリヂストンの「環境対応商品基準」を満たすものを「環境対応商品」とし、「環境対応商品マーク」を付与しています。

環境対応商品のタイヤは、乗用車用タイヤからトラック・バス用、産業車両用まで、幅広いラインナップが揃っています。これらの商品は、ブリヂストンのタイヤ開発・設計における先端技術を結集し、タイヤの転がり抵抗の低減や軽量化などを図ったものです。車の燃費向上による走行時のCO₂排出量の削減やタイヤライフの向上など、経済性や環境性に富んだ商品としてお客様から評価されています。

ダンロップ



ダンロップは、低転がり抵抗を追求することによって、低燃費性能を実現し、環境への負荷を徹底して抑えることに力を注いでいます。

環境性能の指標として、転がり抵抗値、軽量化、耐摩耗性能などダンロップ独自の厳しい環境基準「eco lineup」を設定しました。

2015年には国内で販売する市販用タイヤ*の主力商品は、全てこの基準を満たしたものとなります。

※対象品目は、国内市販用の乗用車、バス、トラック、ライトトラック用です。

ヨコハマタイヤ



ヨコハマは、製品開発において環境に貢献する技術、生産に取り組む上で自社基準を設けています。

これに適合した商品のカタログページには「eco MOTION PRODUCT」マークを付与しています。

【9】環境関連法規への違反、訴訟の有無

1. 主な環境関連法規

主な適応法規	要求事項
水質汚濁防止法	特定施設の届出(自動車自動洗車装置等)
下水道法	排水施設の設置義務 特定施設の届出
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、処理委託業者との契約締結
消防法	少量危険物貯蔵の届出
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理
化管法（P R T R法）	特定物質の排出量・移動量の把握と記録
騒音規制法	特定施設の設置の届出
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検、清掃
浄化槽法	定期的な保守点検、清掃、法定検査の実施

2. 違反、訴訟の有無

当グループにおける環境関連法規への違反、訴訟はありません
尚、関係当局により違反等の指摘は過去3年間なく、自ら遵守確認しています

【10】代表者の全体評価、見直し

1. 全体評価

企業の環境活動は事業を運営して行く上で切り離せない問題であると認識している。
2020年度は新型コロナウイルス感染症への対応を行いながら色々な改革を行ってきた結果、ガソリン使用量を大幅に減少させ、当グループとしての二酸化炭素排出量は目標、前年を下回る結果となった。
2021年度は「変革」と「挑戦」の2nd Stageとして来店型店舗による魅力ある店舗づくりや、工場の冷暖房化の推進（働く環境の整備）と、従業員の働き方改革への取組を継続させ、今後もグループ全体で二酸化炭素排出量削減に向け取り組んでほしい。
また、SDGsの取組「誰一人取り残さない（leave no one behind）」を会社の仕事に照らし合わせ今後の活動に活かしていただいたい。
その中で新型コロナウイルス感染症の対応をしっかりと行い事業活動を行って欲しい。

2. 見直し

新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと行いながら、次年度も基本的な取組は変更せず、お客様・スタッフが「スバルっていいね!!!」と言って頂ける様、「変革」と「挑戦」の2nd Stageとして新車・中古車販売、接客、アフターサービスに取り組み、環境経営面も環境負荷低減に向け取り組んで欲しい。

